
展覧会について

TOTO ギャラリー・間では、チリの首都サンティアゴを拠点に独創的な活動続ける建築家スミルハン・ラディック氏の個展「スミルハン・ラディック展 BESTIARY：寓話集」を開催します。

ラディック氏は近年関心が高まっている南米の現代建築界にあって、独自の世界観で注目を集めています。2010年には、ヴェネチア・ビエンナーレにインスタレーション作品「魚に隠れた少年」を出品、さらにTOTO ギャラリー・間の25周年を記念して開催した展覧会「GLOBAL ENDS—towards the beginning」の7組の建築家のひとりとして、「隠れ家」と題した作品を1,800mm角の展示台の上に提示しました。

ラディック氏はしばしば、自身の中にあるチリの原風景やアート作品、さらにはお気に入りの童話などにアイデアの源泉を求め、極めて詩的であると同時に、敷地形状や環境に応じ、巨石や樹脂膜など形状の定まらない素材を大胆かつ巧みに構成しています。例えばそれは氏の代表作のひとつである「サーペンタインギャラリー・パヴィリオン 2014」が、オスカー・ワイルドの短編『わがままな大男』に着想を得て2010年に試作した模型作品「わがままな大男の家」が発展、作品として結実したことにも見ることができます。

「BESTIARY：寓話集」と名づけられた本展覧会では、空想上の生き物に見立てた20余りの模型を中心に、氏の考える現代の寓話集を提示します。さらにプロジェクトごとにラディック氏が描き記した70冊にもものぼるスケッチブックや、書籍『The Invention of Chile [チリの発明]』に着想を得たという架空の「チリ現代建築ガイド」などを展示。時に難解とも評される氏の思考の源と、ひとつひとつの模型に宿る「確信の瞬間」を、それぞれの視座から見つけ出し、感じ取っていただければ幸いです。

展覧会情報

展覧会名（日）	スミルハン・ラディック展 BESTIARY：寓話集
展覧会名（英）	Smiljan Radić: BESTIARY
会期	2016年7月8日（金）～9月10日（土）
開館時間	11:00～18:00
休館日	月曜・祝日・夏期休暇8月6日（土）～8月15日（月）
入場料	無料
会場	TOTO ギャラリー・間 〒107-0062 東京都港区南青山1-24-3 TOTO 乃木坂ビル 3F TEL＝03-3402-1010 URL＝ www.toto.co.jp/gallerma/
交通案内	東京メトロ千代田線 乃木坂駅3番出口徒歩1分 都営地下鉄大江戸線 六本木駅7番出口徒歩6分 東京メトロ日比谷線 六本木駅4a番出口徒歩7分 東京メトロ銀座線・半蔵門線・都営地下鉄大江戸線 青山一丁目駅4番出口徒歩7分
主催	TOTO ギャラリー・間
企画	TOTO ギャラリー・間運営委員会 特別顧問：安藤忠雄 委員：岸 和郎／妹島和世／内藤 廣／エルウィン・ビライ
後援	（一社）東京建築士会／（一社）東京都建築士事務所協会／（公社）日本建築家協会関東 甲信越支部／（一社）日本建築学会関東支部
特別後援	チリ共和国大使館

展覧会コンセプト文

寓話集

よく描けた挿画には、描き手の脳裏をかすめた確信らしきものが、必ず現れているように思う。どんな方法で描かれていようと——ドローイングであれ、模型であれ、写真であれ——その絵は周囲に啓蒙的な影響を与える。描くことで人を啓蒙し、まったくの無の状態から虚構を構築する。よく描けた挿画には、必ずその対象物の記憶が充満しているものだ。

「寓話集」と題した本展は、私の作品に現れたこうした確信の瞬間の寄せ集めである。ちなみに本来のBESTIARY（中世の動物寓話集）は、空想上の獣や怪物、つまり現実世界では目にすることのできない生き物を網羅した、図鑑のようなものであった。

このたび私たちの「寓話集」に収められたのは、一群の木製模型である。過去6年間に私たちの設計したプロジェクトを、建築家アレハンドロ・リューエルが模型に仕立ててくれた。

展示模型のなかには、私の気に入りの文章の挿画から生まれたものもある。これらはあくまで解釈の一環として制作した模型なので、その背景にはこれといった根拠もなければ、用途も想定されていない。数年後に実現に至った、あるいは実現に向けて動き出したプロジェクトもあるが、それは単に巡り合わせが良かっただけのことだ。

模型は単に一つの解釈、検討中の未定の形態にすぎない。なかにはプロジェクトの出発点となった模型もあれば、施主への最終プレゼンテーションに用いられた模型もある。プロジェクトを進める間は首尾一貫して、これらの木製模型並みの精度と整然さを心掛けた。つまり私たちにとってはどの模型も、まさしくその建築プロジェクトに対する確信の現れなのである。

スマイルハン・ラディック

建築家プロフィール

スマイルハン・ラディック Smiljan Radić

1965年、チリ、サンティアゴ生まれ。1989年チリ・カトリック大学卒業後、ヴェネチア建築大学で学ぶ。1995年に Smiljan Radić Arquitecto を開設。2009年より AIA 名誉会員。2001年チリ建築家協会 35歳以下の最優秀国内建築家賞受賞。2015年 Oris ACO Award 受賞。主な作品に「サーペンタイン・ギャラリー・パヴィリオン 2014」（イギリス、ロンドン／2014年）、直角の詩に捧ぐ家（チリ、ビルチェス／2012年）、「NAVE—パフォーマンス・アーツ・ホール」（チリ、サンティアゴ／2015年）など。展覧会に、ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展（2010年）、TOTO ギャラリー・間 25周年記念展「GLOBAL ENDS」（2010年）、銀座メゾンエルメス「クローゼットとマットレス」展（マルセラ・コレアと協働）（2013年）などがある。



© Hisao Suzuki

関連プログラム1

スミルハン・ラディック講演会 「BESTIARY：寓話集」 CPD 認定申請中

日時	2016年7月8日（金） 17:30 開場、18:30 開演、20:30 終演（予定）
会場	イイノホール（東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング 4F）
定員	500名
参加費	無料
参加方法	事前申込制：申込期間内にウェブサイトよりお申し込みください。 URL= www.toto.co.jp/gallerma/ 抽選の上、7月1日（金）までに結果をご連絡いたします。
お申込期間	2016年5月13日（金）～年6月19日（日）

関連プログラム2

神戸講演会

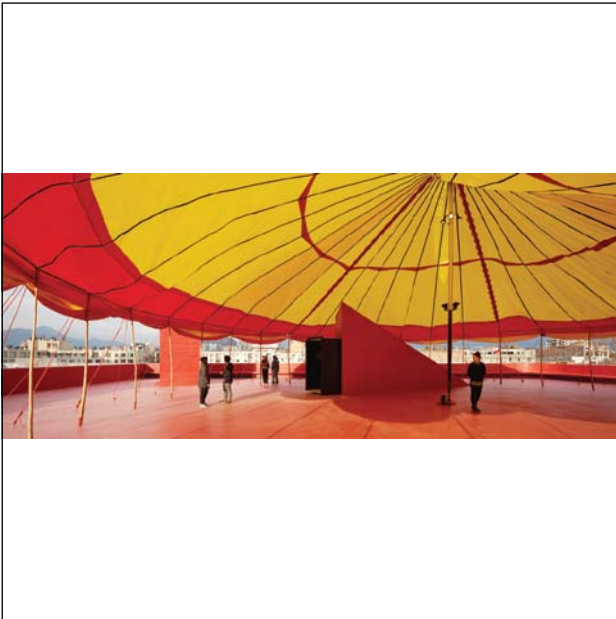
第40回神戸建築学 スミルハン・ラディック神戸講演会 「BESTIARY：寓話集」

日時	2016年7月10日（日） 14:30 開場、15:00 開演、17:00 終演（予定）
会場	神戸大学百年記念館 六甲ホール
定員	300人
参加費	無料
ナビゲーター	槻橋 修（神戸大学大学院准教授）
共催	神戸大学大学院工学研究科建築学専攻、TOTO ギャラリー・間、木南会（神戸大学建築系同窓会）
参加方法	神戸大学学生以外は事前申込制。詳細は TOTO ギャラリー・間ウェブサイトをご覧ください。

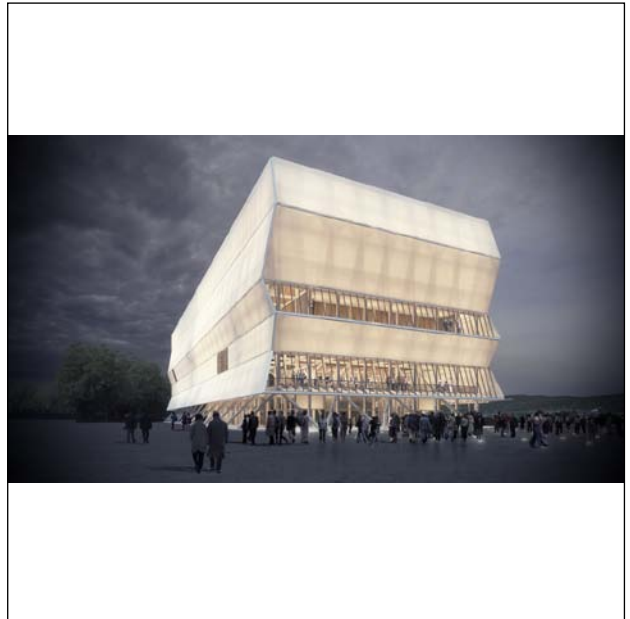
関連書籍

『スミルハン・ラディック 寓話集』

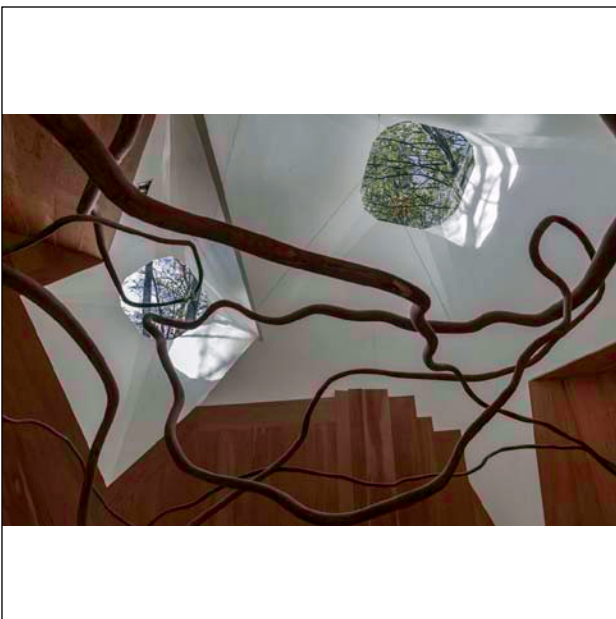
著者	スミルハン・ラディック
発行日	2016年7月上旬（予定）
体裁	B5変形、210×190mm、並製、312頁、和英併記
発行	TOTO 出版（TOTO 株式会社）TEL=03-3402-7138 URL= www.toto.co.jp/publishing/



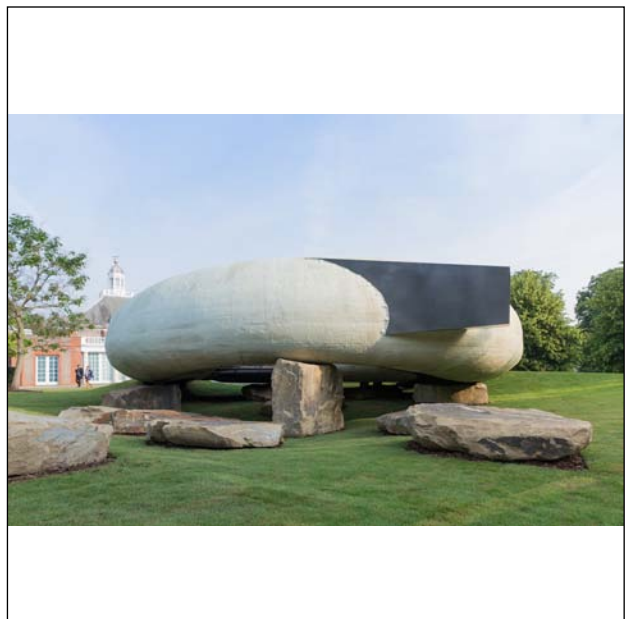
[1] NAVE—パフォーマンス・アーツ・ホール（チリ、サンティアゴ／2015年） © Cristobal Palma



[2] ピオピオ市民劇場（チリ、コンセプション／2011年～） © Andres Batlle



[3] 直角の詩に捧ぐ家（チリ、ビルチェス／2012年）
© Gonzalo Puga



[4] サーペンタイン・ギャラリー・パヴィリオン2014（イギリス、ロンドン／2014年） © Iwan Baan
※本画像につきましては別途使用料が必要です。